愛の献血（第一回目）にご協力ありがとうございました

今年度は、「ゆうあい号」による献血の実施が二回となり第一回が去る五月十九日、第二回が八月十九日であります。

さて、去る五月十九日実施いたしました献血の際、血液の必要性を十二分にご理解いただきご協力くださいましたことについて心から感謝申し上げます。今後さらに献血運動を一層強力に推進し、献血事業の正常かつ堅実な伸展を期するため皆様方のご協力をお願い申し上げますとともに第一回目の献血結果をご報告いたします。

採血中も笑顔がこぼれます。

大字名	全体目標	第一回目標	採血実績	採血率	第一回目標
大別当	二七	一四	二五	一七九	一三
月潟	八六	四四	六三	一四三	四二
西萱場	二〇	一〇	一〇	一〇〇	一〇
上曲通	二〇	一〇	九	九〇	一〇
下曲通	九	五	六	二〇	四
東長島	一二	六	五	八三	六
木滑	二〇	一〇	一四	一四〇	一〇
釣寄	一二	六	八	一三三	六
釣寄新	五	三	五	一六六	二
村外	〇	〇	六	〇	〇
合計	二一一	一〇七	一五一	一四一	一〇四

玄米の華麗なる変身

お米を飲むというと、まず清酒を思い浮べる方が多いでしょう。

ところで最近、玄米の栄養に着目した〝玄米飲料〟が相次いで開発をされています。

玄米というと「栄養があって体にいいことは分っているんだが、圧力釜で炊いたり、アゴがくたびれるほど噛まなきゃ食べられないし……」と敬遠した人も多いと思います。　そんな悩みを解消した栄養たっぷりの飲みもの、それが玄米飲料です。

玄米コーヒー

栄養たっぷり、ココアの味

見た目は、つぶの大きいインスタントコーヒーのようで、薄茶色をしています。

お湯はもちろんのこと、牛乳でもそのまま溶かして飲めます。一見コーヒー風ですが、カフェインはもちろん入ってなく、味はココアに似ています。ですから子供にも安心して与えられる飲み物と言えます。

さて、その製法ですが、これまで米の粉というのは湯水を加えると、ノリあるいはダンゴ状になる以外の〝変化〟は考えられませんでした。

ところが玄米コーヒーは、まぎれもなく玄米の〝液体〟です。そのうえ、玄米のもつ豊富な栄養価は、ほとんど失なわれません。

これは、従来のお米の科学からは考えられない新しい領域なのです。ところで、肝心の作り方ですが、今のところ〝秘中の秘〟だそうです。

現在はまだ、テスト販売の段階ですが、広くご家庭の食卓に上るのもそう遠くではないでしょう。

七月の保健衛生事業日程

日	曜	事業名	会場
4	火	キッチンカー巡回	午前、午後
※健康づくりもバランスのとれた食事療法で!!　ぜひ受講下さい。			
5	水	母親学級	全妊婦　於月寿荘
11	火	総合検診	月潟、西萱場住民　於中学校
12	水	〃	大別当、上下曲通　西四ケ字　於西公民館
※明るい家庭も健康から　年一回の総合検診できづいて下さい。			
24	月	一才児検診	S52.2.11～S52.7.11生マデ　於月寿荘
28	金	二才児検診	S51.2.11～S51.7.11生マデ　於月寿荘
※この後からは一才六ケ月児検診となります。			
27	木	三才児検診	S50.2.11～S50.7.11生マデ　於月寿荘

七月の公民館事業日程

日	曜	事業名	会場
2	日	文化財視察	高田方面
9	日	村民登山	未定
10	月	孫親学級	西公民館　午前10時
16	日	青少年健全育成懇談会	月寿荘　午後1時30分
20	木	老人学級	月寿荘　午前10時
23	日	婦人学級	月寿荘　午後1時30分
30	日	スポーツ少年団キャンプ	池の平キャンプ場
29	土		

◎スポーツ少年団柔道教室　毎週火曜日　西公民館　午後7時
◎スポーツ教室　毎週水・土曜日　月潟小学校　午後7時30分
◎ママさんスポーツ教室　毎週土曜日　月潟中学校　午後7時30分
◎早朝サイクリング　毎月第2、第4日曜日　午前6時30分

納税は便利な振替納税で　加入の拡大にご協力を!!

村に納める税金も、電気料や電話料と同じように、あなたの預金口座から自動的に振替納税をすることができます。

わざわざ役場まで出向いて納めるわずらわしさがなく、大変便利です。是非ご利用ください。

申込みは、役場の税務課までお申し出ください。

なお、現在までの加入状況は次のとおりとなっています。

口座振替納税加入状況

53. 5. 31.

部落名	納税者数	加入者数	加入率	加入当初目標数
大別当	107	68	63.6%	75
月潟	347	176	50.7	243
西萱場	79	51	64.6	55
上曲通	71	34	47.9	50
下曲通	39	24	61.5	27
東長嶋	43	36	83.7	30
木滑	72	62	86.1	50
釣寄	39	36	92.3	27
釣寄新	15	15	100.0	11
計	812	502	61.8	568

あきつ俳壇

連翹の黄色増す日にストに入る　吉田　喜美

日に日に黄を加える連翹の黄、鮮明な彩りの中に何にかのうさを秘めるかれんな美くしさ、下五に「ストに入る」と云う以外な現実語を据えることで、人の深奥にある心の屈折を見事に表現してあますことがない。詩は我々の身近にある。即物具象、物の形を捉いその中に奥深く人の心をこめる。これこそ我々が指向する俳句である。（羅春選評）

五月作品

訃報聞くどうと春風鳴りにけり　流水
鴬に耳を預けて白衣干す　里代子
てのひらに琥珀のグラス啄木忌　詩子
末黒野の中へ黒犬入りゆけり　麥秋
湯上りの肌に遊ばす春の風　敬子
かわたれやこぼれ菜の花黄に咲きぬ　小灯
野火蘇きつゝ鉄橋の下くゞる　永久
玻璃に書く四月な文字や鳥雲に　豊泉
遠山の暁映ゆる梅の村　富代
旅すれば旅の優しさ春惜しむ　昭月
梨棚の剪定終りキセル出す　以知路
列車過ぎ土筆の林波立ちぬ　草人
新らしきベンチが置かれ草崩ゆる　孝治
母だけが知る片言や鯉幟り　和子
嫁の荷を解けばこぼるゝ桃の花　としこ
妻病んで暗き厨や菜種梅雨　詩浪
宵祭り隣も同じ金魚店　甚左
斑雪まだらなる甕煙りけり　偲山
鯉幟り屋根の高さに見え隠れ　トシ子
春暁のバケツにのばす貝の舌　羅春